

## 業務用バイオ式生ごみ処理機200kgタイプを受注開始

- 「食品リサイクル法」対応の大容量・省スペースを実現 -

日立ホーム&ライフソリューション株式会社（取締役社長：石垣 忠彦）は、大容量タイプの業務用生ごみ処理機200kgタイプ（GMR-RX200）の受注を6月10日から開始します。

本製品は、従来から発売していた処理能力160kg/日の「GMR-200C-3」と比べ、価格は同価格ながら処理能力を25%向上するとともに、本体の小形化を図り、設置面積を約20%縮小し、省スペース化しました。また、内蔵の脱臭装置の臭気抑制を強化し臭気の低減も図りました。

### 型式及び価格

| 製品名               | 型式        | 本体希望小売価格（税込）                    | 受注開始  | 納入開始 |
|-------------------|-----------|---------------------------------|-------|------|
| 業務用バイオ式<br>生ごみ処理機 | GMR-RX200 | 15,225,000円<br>（税抜 14,500,000円） | 6月10日 | 9月1日 |

近年の環境問題の高まりやごみ処理費の高騰、更に農林水産省から2001年06月に発動された食品リサイクル法の施行など、ごみの減量化が社会的な問題となっており、生ごみ処理機の需要は今後も大きく伸長することが予想されます。

当社では、1993年10月から業務用バイオ式生ごみ処理機の販売を開始して以来、1,000台を超える納入実績があり、生ごみの減量化・リサイクルの推進を図ってきました。

今回受注を開始するGMR-RX200は、1日に処理できる容量を200kgと従来よりも25%アップしました\*1。また、約20%の省スペース化を実現し、脱臭性能も強化しました。

食品リサイクル法対象のスーパー、食品加工業、ホテル等をはじめ、大規模な学校給食施設、病院給食施設、企業食堂等にも最適な業務用の生ごみ処理機です。

\*1 当社従来機種「GMR-200C-3」処理能力160kg/日との比較

## 主な仕様

|                |                        |
|----------------|------------------------|
| 型 式            | GMR - RX200            |
| 処 理 能 力(kg/日)  | 200                    |
| 処 理 方 法        | 微生物による好気性発酵            |
| 生ごみ減容、減量       | 約1/10～1/3              |
| 製 品 寸 法(mm)    | 幅2,850 奥行1,710 高さ1,900 |
| 投 入 口 高 さ(mm)  | 1,320                  |
| 製 品 質 量(本体:kg) | 2,400                  |
| 電 源            | 三相200V 50/60HZ         |
| 定格消費電力(kw)     | 7.3/7.5                |
| 消費電力量(kwh/日)   | 116/117                |
| 運 転 電 流(A)     | 23.5/23.8              |
| 漏電ブレーカ容量(A)    | 50                     |

### 取扱事業部・照会先

日立ホーム&ライフソリューション株式会社 冷熱事業部 冷蔵庫事業企画部  
業務用生ごみ処理機グループ〔担当：佐野、菊地〕  
〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号（日立愛宕別館）  
電話 / (03) 3506-1679（ダイヤルイン）

### お客様からの問合せ

日立ホーム&ライフソリューション株式会社 お買物相談センター  
電話 / 0120-312111（フリーダイヤル）

以上

## 【添付資料】

### 業務用バイオ式生ごみ処理機GMR-RX200の主な特長

#### 1. 処理能力を従来比<sup>\*1</sup>25%アップ

従来製品<sup>\*2</sup>の内部構造を見直すことにより、1日の処理能力を従来<sup>\*1</sup>の160kgから200kgに拡大しました。

#### 2. 小形、省スペース設計

本体の小形化を図り、設置面積を従来<sup>\*2</sup>の6.1m<sup>2</sup>から<sup>\*2</sup>、4.8m<sup>2</sup>と約80%に縮小しました。

#### 3. 脱臭性能の向上

業務用生ごみ処理機は、発酵・分解する際に発生する排水や臭気ガスを調整・処理した後に水や空気として排出します。排水はpH処理槽を通過させて、中和処理した後排出しています。臭気については、脱臭槽に臭気分解能力を持つ微生物を付着したスポンジ剤を充填し、臭いを含んだ排気空気を送り込み、スポンジ剤と接触することで臭いを分解し外部へ排気しています(図1参照)。

今回は、脱臭槽の容積を従来<sup>\*2</sup>の約3倍に拡大し、さらに槽内に臭気を送り込むパイプ表面の穴の直径を小さくして臭気の気泡を縮小し、スポンジ剤と接触する面積を増やすことで臭気低減を図りました。

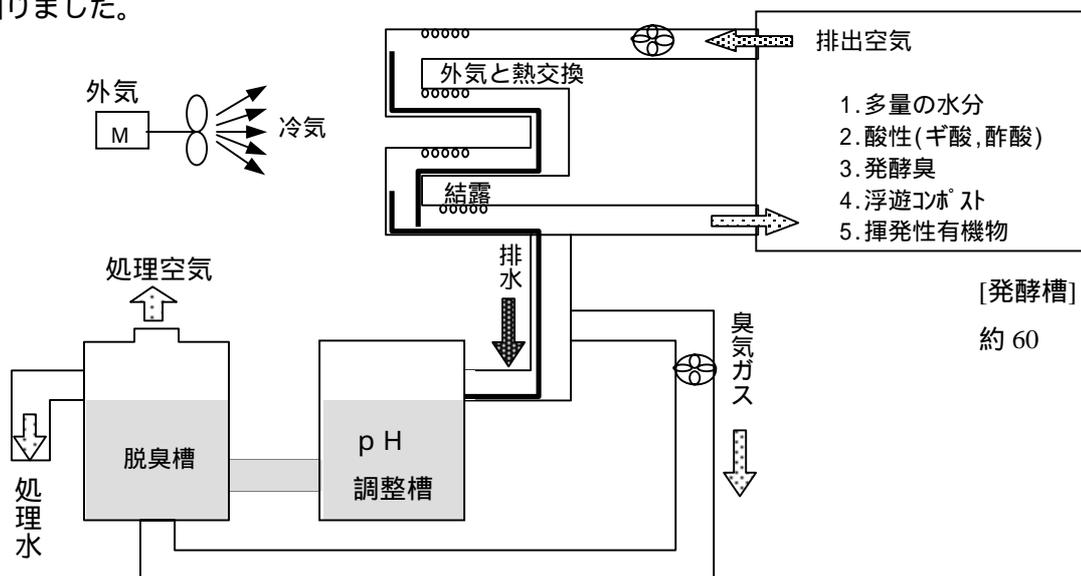


図1 処理槽内部の構成

\*1 当社従来機種「GMR-200C-3」処理能力160kg/日との比較

\*2 「GMR-200C-3」

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---